

はじめに

宮城県教育委員会では、平成 27 年度から 3 か年計画で、「第 I 期共に学ぶ教育推進モデル事業」に取り組み、その成果と課題を踏まえ、平成 30 年度から発展的に「第 II 期共に学ぶ教育推進モデル事業」を実施し、今年度はまとめの時期を迎えることとなりました。

平成 29 年 3 月に新学習指導要領が公示され、これからの学校が目指すべき方向性として、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現が重要であることが示されました。加えて、特別支援教育に関しては、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進が求められているところです。

学校におけるインクルーシブ教育システムを構築し「共に学ぶ」教育や共生社会の実現を果たすためには、実践事例の積み上げや教職員の特別支援教育に関する専門性の向上が必要不可欠であり、本事業の実践報告を今後の指導において参考にさせていただけたら幸いです。

今後は、これまでの取組を検証し、「共に学ぶ」教育を地域全体に展開していきたいと考えております。

結びになりますが、これまで 3 年間、本事業にお力添えをいただきましたモデル校の校長先生をはじめ、教職員の皆様、対象児童生徒とその保護者の皆様、市町村教育委員会の皆様、そして御指導、御助言を賜りました専門家の皆様に心より感謝申し上げます。

令和 3 年 3 月

宮城県教育庁特別支援教育課長

川村 満